

平成25年9月20日
海事局船舶産業課

バンコクにおける「内航タンカー近代化支援セミナー」の開催結果について

9月18日（水）、タイのバンコクにおいて、同国における内航タンカーの代替を促進するための「タイ内航タンカー近代化支援セミナー」を日タイ両政府の主催により開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

タイにおいては、約200隻の内航タンカーの半数以上が建造から25年を経過したシングルハル構造*の老朽船であり、ひとたび海難事故が発生した場合には、大量の貨物油が流出する恐れがあるため早期の代替が必要です。我が国は、タイ政府からの要請に基づき技術支援を行うこととしております。

本セミナーは、上記技術支援の一環として開催したものであり、日タイ両政府関係者のほか、タイの船主・造船所等から54名、我が国船用事業者等から77名、総勢131名の参加を得ることができました。

セミナーでは我が国から、技術支援として供与する設計図面（載貨重量3,000トン型タンカー）に関する説明のほか、日本の船用機器メーカーによる最新の船用機械・技術の紹介、日本海事協会による我が国最先端の環境対応技術に関する紹介を行いました。

タイ側からは、本プロジェクト推進のため、同国政府が船主向けに行う代替建造の金融支援の実現に向けて引き続き取り組むとともに、本セミナーの開催を通じて日本との有益な関係を構築していきたい旨、発言がありました。

本セミナーの開催により、タイの内航タンカーが早期に代替されると同時に、我が国の船用製品が同国内に普及することが期待されます。

* シングルハル構造（単船殻構造）：船の船殻（外板）の内側が直接タンクになっている構造。

問い合わせ先：

国土交通省海事局船舶産業課国際業務室 中川、磯部

代表番号：03-5253-8111（内線43-653、43-612）

直通番号：03-5253-8634

FAX番号：03-5253-1644

タイ「内航タンカー近代化支援セミナー」の概要

日 時：平成25年9月18日（水）13：30～17：00

会 場：デュシタニ ホテル バンコク デュシタニホール

主 催：国土交通省海事局及びタイ運輸省海事総局

参加団体：

日本側 国土交通省海事局、在タイ日本国大使館、日本海事協会、日本船用工業会
船用事業者等（大晃機械工業(株)、大洋電機(株)、ヤンマー(株)、新潟原動機(株)、
(株)赤阪鉄工所、(株)浪速ポンプ製作所、阪神内燃機工業(株)、ダイハツディー
ゼル(株)、西芝電機(株)、中国塗料(株)、日新興業(株)、ナカシマプロペラ(株)、(株)
マツイ、神奈川機器工業(株)、(株)ケーイーアイシステム、イーグル工業(株)、
(株)マキタ、ムサシノ機器(株)、日本無線(株)、郵船商事(株)、渦潮電機(株)、ジャ
パン・ハムワージ(株)、東京計器(株)、三菱化工機(株)、三浦工業(株)、富士貿易
(株)、(株)シンコー、かもめプロペラ(株)、(株)ヤマトメタル、豊田通商(株)

タイ側 運輸省海事総局、国家経済社会開発委員会、船主及び造船事業者等

議 事：

1. 開会挨拶（ソラサック運輸省海事総局長、上園国土交通省海事局船舶産業課国際業務室長）
2. タイ内航タンカーの近代化に関する講演
 - ① タイ内航タンカー代替建造プロジェクトの概要（ピチャイ タイ運輸省海事総局課長）
 - ② 3,000 載貨重量トン型タンカーのコンセプトについて（日本海洋科学）
 - ③ 3,000 載貨重量トン型タンカーの仕様について（ジャパン・マリン・ユナイテッドシンガポール）
3. 内航タンカーに搭載される日本の船用機器について（日本船用工業会）
4. 日本海事協会が取り組む船舶の技術革新について（日本海事協会）
5. 閉会挨拶（中島日本船用工業会会長）

